

水舟区活動報告

もくじ

- 1 水舟集落概要
- 2 活動内容
- 3 提案

宇都宮大学里研究会

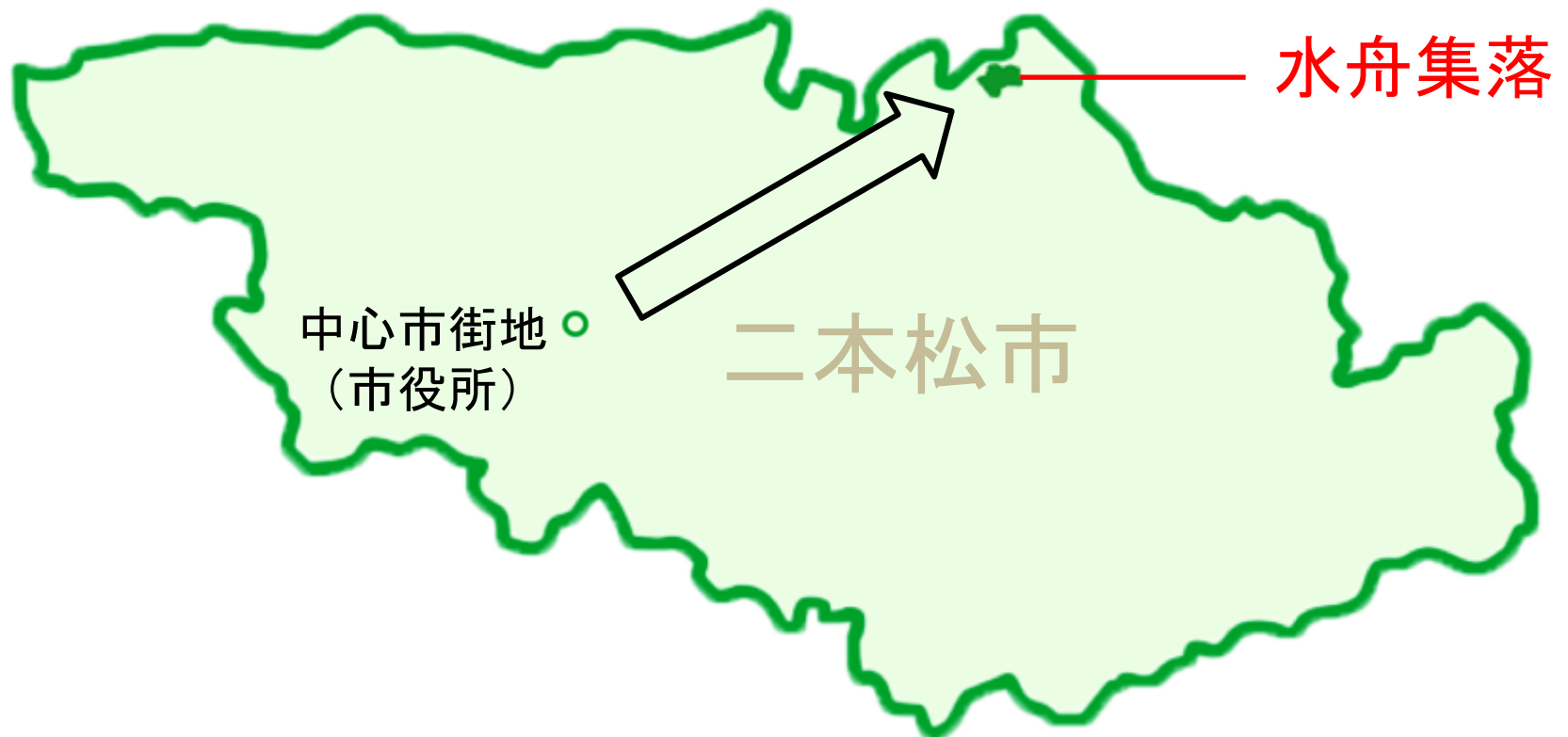
1 水舟集落概要

所在地：福島県二本松市木幡地区 水舟集落

世帯数：34（2013年10月現在）

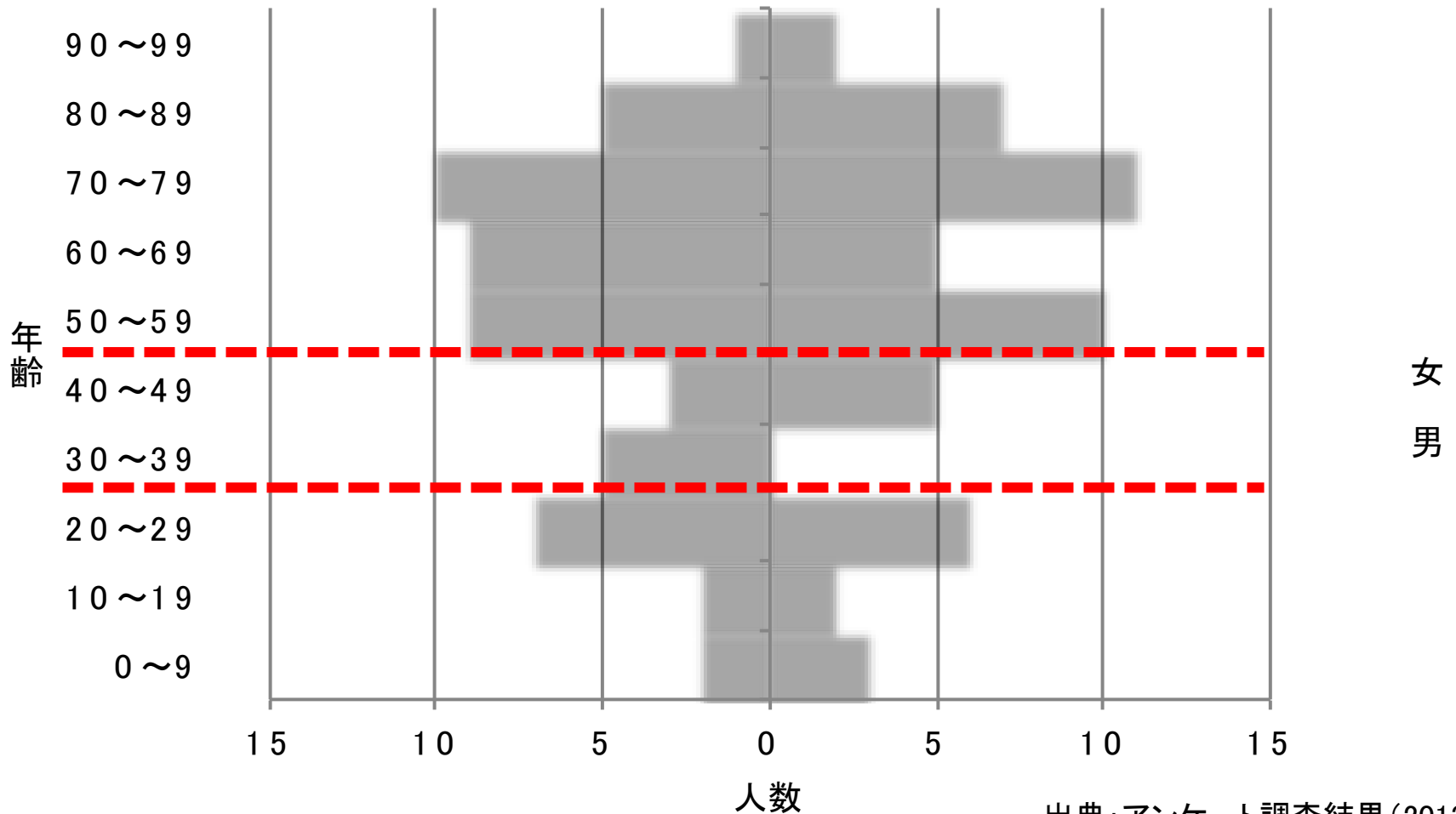
人口：104（2013年10月現在）

主な産業：農業（稲作・ナス・エゴマ など）



1 水舟集落概要

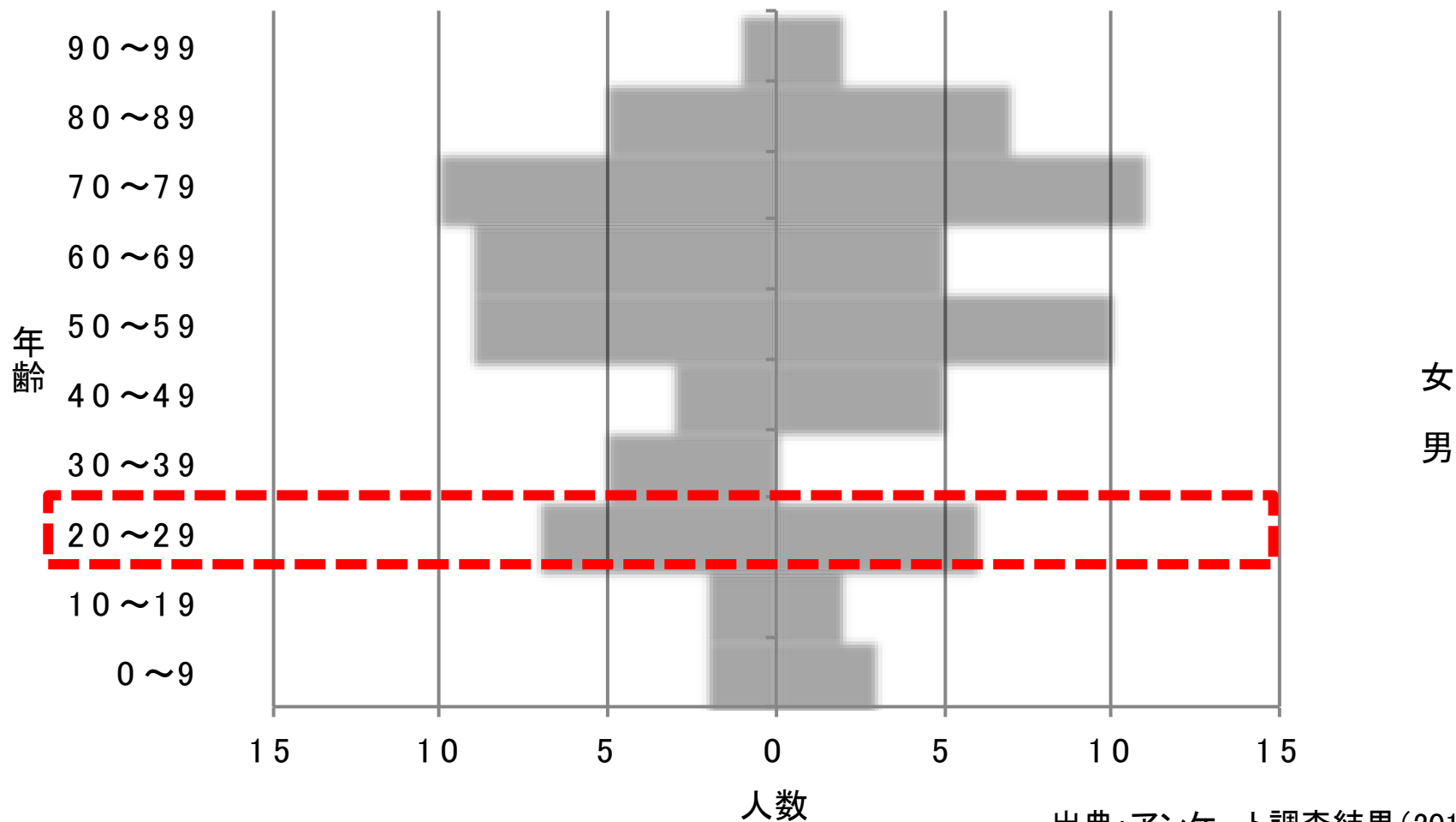
- ・55歳以上が64人(59.8%)・・・準限界集落
- ・30～49才の人口が少ない・・・20～30年後には人口が大幅に減少



1 水舟集落概要

・20～29才の人口は13(12.5%)と多い

→ 過疎化防止や集落活動の担い手として期待



2 活動内容

日程

2013年8月23～24日

調査打ち合わせ

集落のフィールド調査

住民へのヒアリング調査



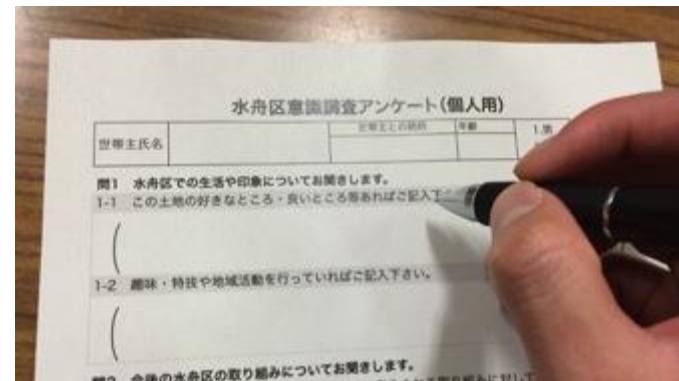
2013年10月

15日 住民へのアンケート配布

22日 アンケート回収

回答数: 103/104人

33/34世帯



2013年11月2～3日

住民へのアンケート結果報告会

ワークショップ

集落のフィールド調査



2 活動内容

① 集落のフィールド調査

目的: 地域資源の発見

農業風景あふれる環境や、見渡しのいい景色等が多い

→ 観光資源としてアピールできる環境にある



2 活動内容

② 住民へのヒアリング調査

目的: 集落の歴史や産業、抱える問題などの現状把握

→ 集落で集まる行事が基本的に行われていない

原因: 小学校の廃校

子どもが多かった頃は、子供を中心とした行事が行われ
住民が集まる場になっていた



ヒアリングの様子

2 活動内容

③ 住民へのアンケート調査

回答数:103/104人

33/34世帯

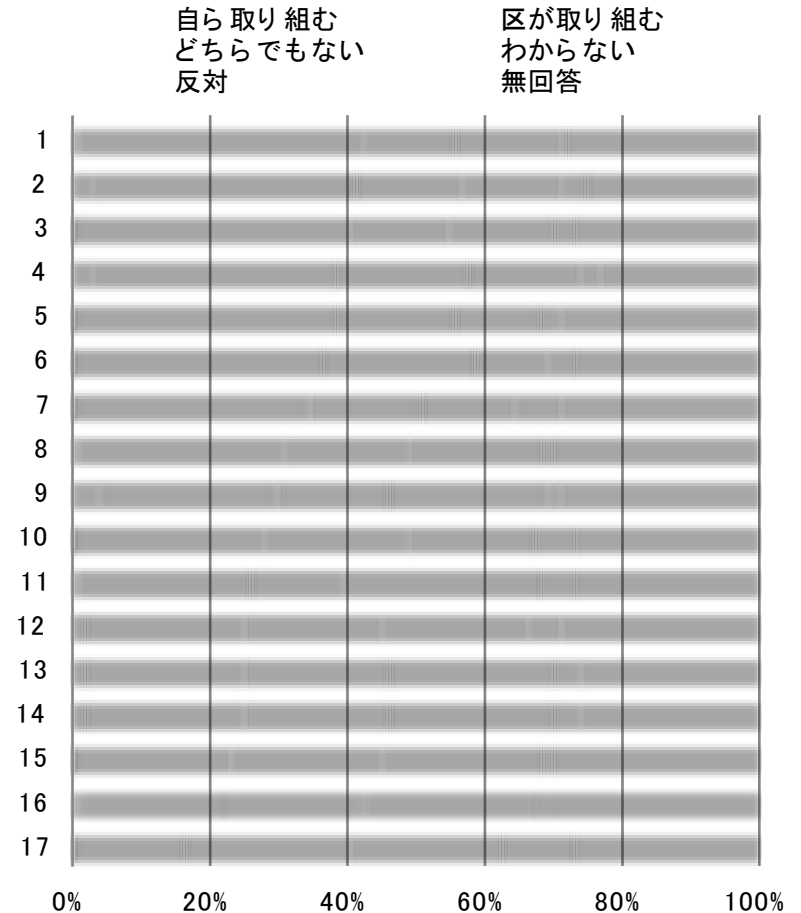
目的:今後の集落の取り組みへの関心度合いの把握

内容:集落の現状に対する解決策や、一般的な活性化手法について

関心の度合いを5段階で答える

質問項目

- 1 地区全体での獣害対策
- 2 運動場・体育館の整備
- 3 歴史的な環境を整備
- 4 特養の建設
- 5 高齢者の集い場の設置
- 6 休憩所の設置
- 7 景観の開発
- 8 伝統・技術の伝承
- 9 農作物放射能対策実験ほ場への活動
- 10 耕作放棄地の共同での利用
- 11 空き家の新たな利活用
- 12 子ども達が戻ってくる機会の創出
- 13 特産物の開発
- 14 耕作放棄地の新たな利活用
- 15 新規就農者の受け入・支援
- 16 体験農業の受け入・支援
- 17 農家民宿業を始める



2 活動内容

③ 住民へのアンケート調査

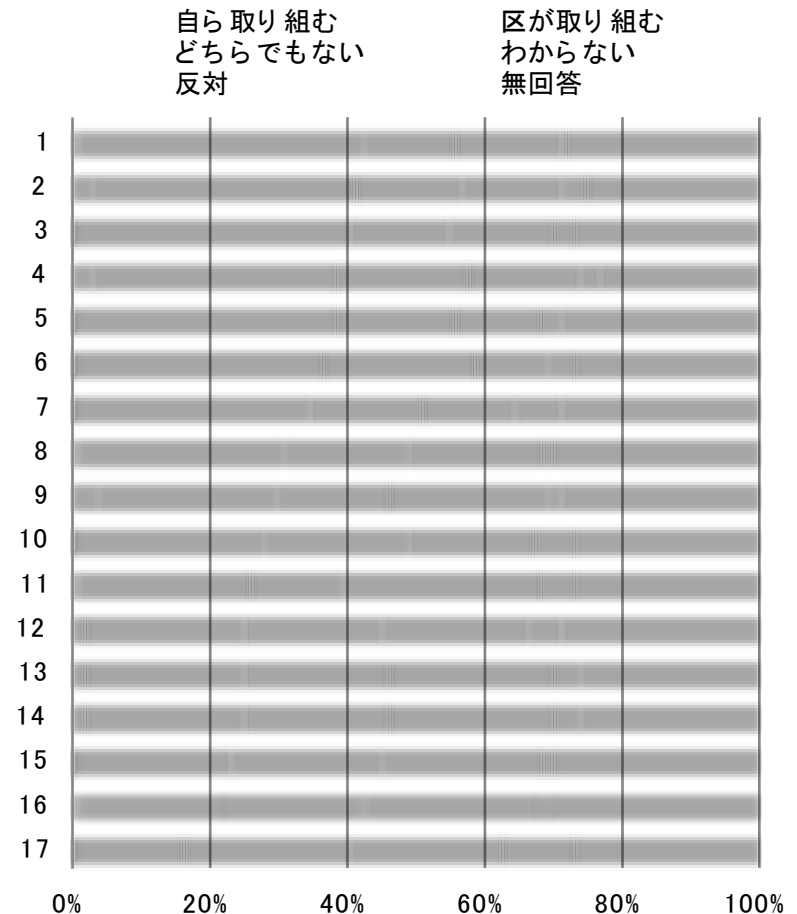
回答数: 103/104人
33/34世帯

目的: 今後の集落の取り組みへの関心度合いの把握

内容: 集落の現状に対する解決策や、一般的な活性化手法について
関心の度合いを5段階で答える

- ・すべての項目において大きな差はなかった
- ・自ら取り組む と回答した人が著しく少ない
最も多い項目であっても4人(3.8%)
- ・集落が取り組む の回答者数が最も多い

→ 集落が抱える問題に対して
自ら取り組む意識が低い



2 活動内容

④ 住民アンケート結果報告会・ワークショップ・交流会

目的: アンケート結果の報告、住民間の意見交換

参加人数: 37人 (35.6%)

ワークショップでの主な意見

- ・農作物が売れない
- ・道を整備する
- ・集落全体で集まる機会がほしい



ワークショップ



交流会

2 活動内容

④ 住民アンケート結果報告会・ワークショップ・交流会

目的: アンケート結果の報告、住民間の意見交換

参加人数: 37人 (35.6%)

ワークショップでの主な意見

- ・農作物が売れない
- ・道を整備する
- ・集落全体で集まる機会がほしい

集落全体の集まりは基本的に行われておらず

住民同士がまとまり、今後の活性化について意識の共有や行動が
起こせていない

→ 集落のまとまり(意識・機能)に欠ける

交流会のような集まる機会へのニーズ

調査活動で明らかになった事

- ・豊富な観光資源
- ・集落存続に期待できる若い年代の発見
- ・集落のまとまり(意識・機能)に欠ける
- ・集まる機会へのニーズ



①集落全体で集まる場所や機会をつくり
活性化への意識向上をはかる

②観光資源を活かし仕事を生み
若者の人口流出を防ぐ

3 提案

- ① 集落全体で集まる場所や機会をつくり、活性化への意識向上をはかる
集まる場所をつくる

体育館 兼 集会・調理施設



- ・耐久性は問題なし
 - ・用具庫がない
 - ・トイレ設備の老朽化
- 小規模リフォーム

公会堂

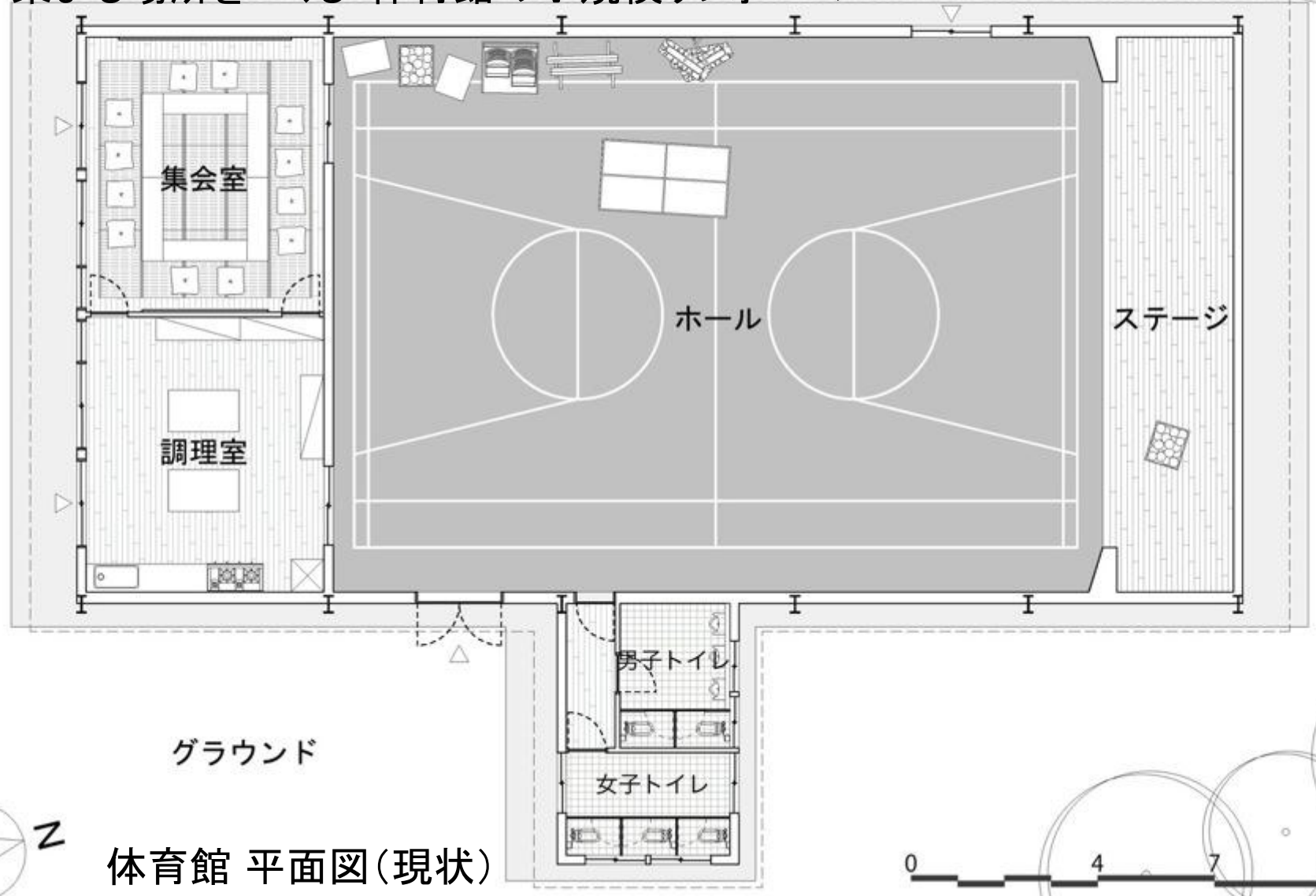


- ・1階が倉庫、2階が集会室となっており
高齢者には使いづらい
 - ・建物全体の老朽化
- 早急な建て替え

3 提案

① 集落全体で集まる場所や機会をつくり、活性化への意識向上をはかる

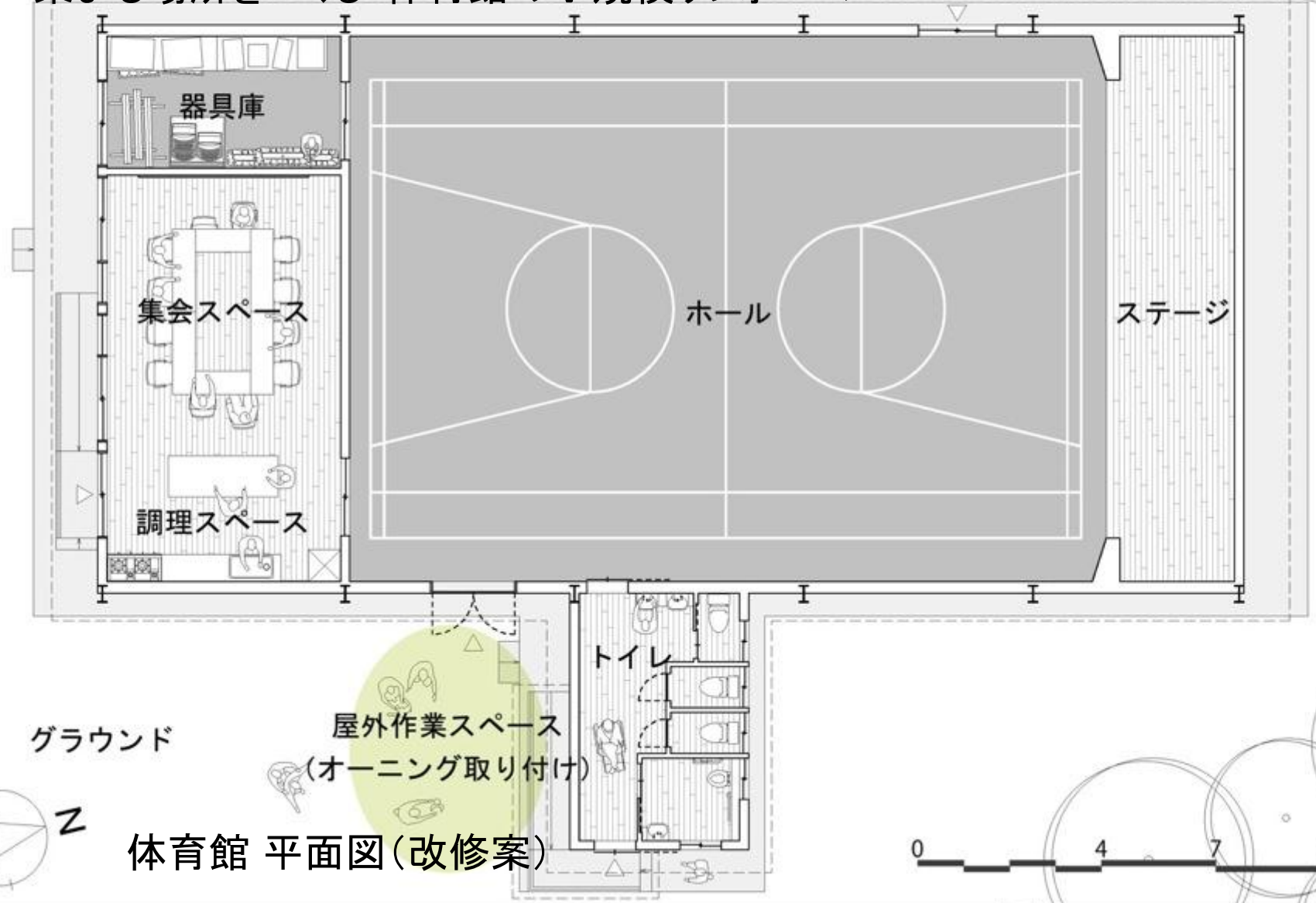
集まる場所をつくる：体育館の小規模リフォーム



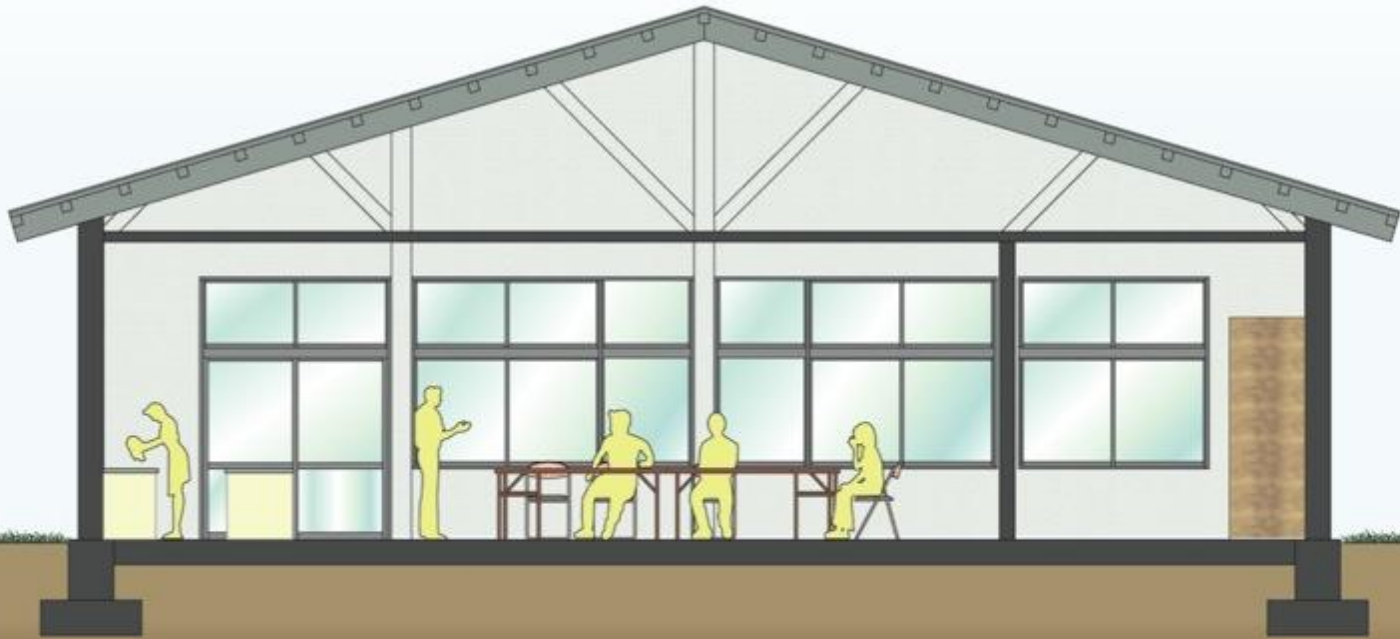
3 提案

① 集落全体で集まる場所や機会をつくり、活性化への意識向上をはかる

集まる場所をつくる：体育館の小規模リフォーム



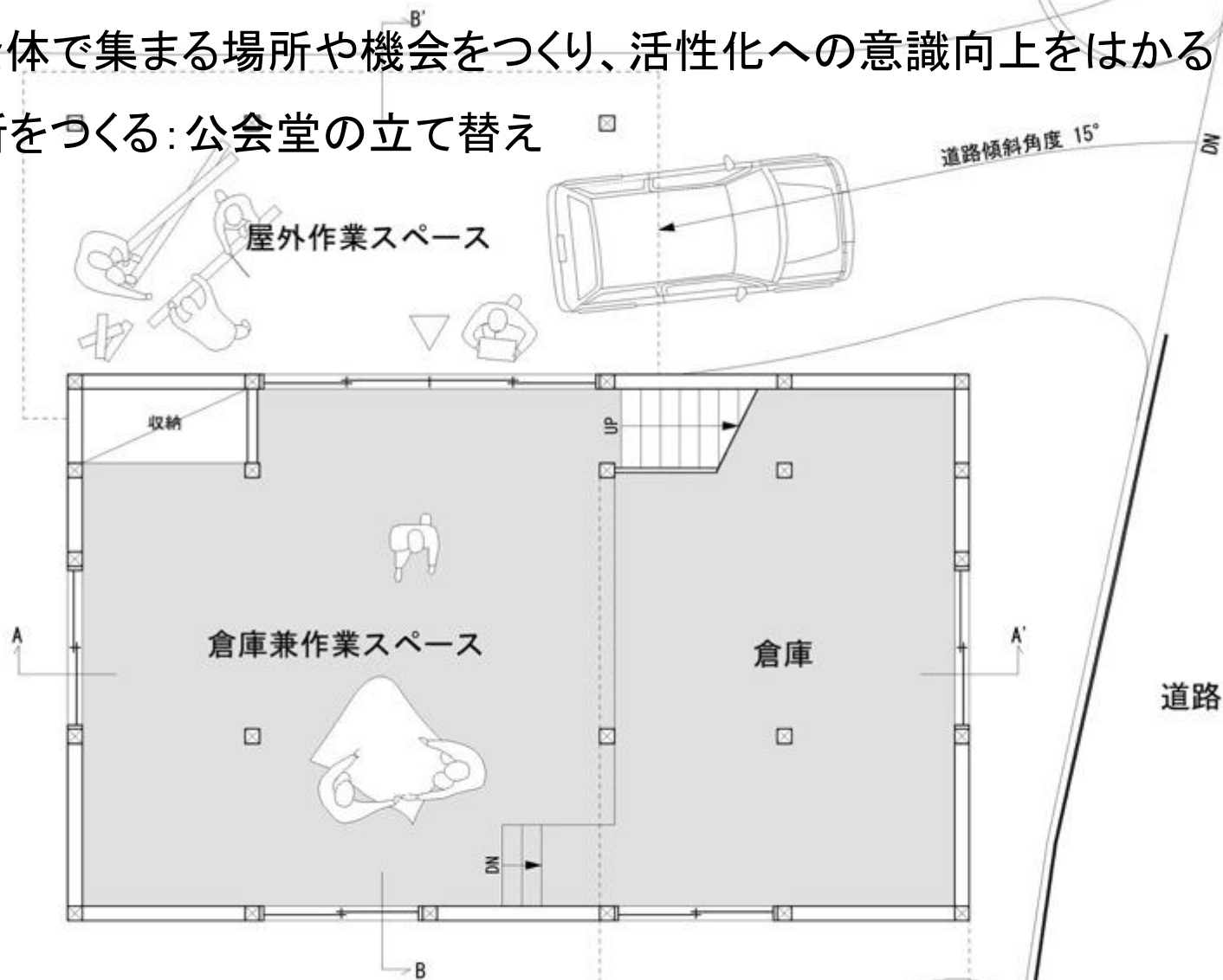
- ① 集落全体で集まる場所や機会をつくり、活性化への意識向上をはかる
集まる場所をつくる：体育館の小規模リフォーム



体育館 断面図(改修案)

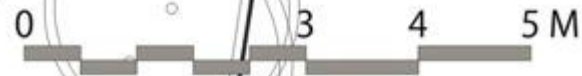
① 集落全体で集まる場所や機会をつくり、活性化への意識向上をはかる

集まる場所をつくる：公会堂の立て替え



公会堂 1階平面図(改修案)

駐車場



3 提案

- ① 集落全体で集まる場所や機会をつくり、活性化への意識向上をはかる
集まる場所をつくる：公会堂の立て替え



公会堂 2階平面図(改修案)

駐車場



3 提案

① 集落全体で集まる場所や機会をつくり、活性化への意識向上をはかる

集まる場所をつくる：公会堂の立て替え



公会堂 断面図(改修案)

3 提案

① 集落全体で集まる場所や機会をつくり、活性化への意識向上をはかる
集まる機会をつくる:水舟グランドゴルフ大会開催

- ・住民の多くは「グランドゴルフ」が趣味
- ・グランドゴルフを行える環境が地区に存在する
- ・「周辺地域を呼び大会を行いたい」という意見も聞かれた

周辺地域から競技者を呼び、水舟集落でもてなす
また、地元食材を活かした「芋煮」を提供する

→ 集落のまとまりを強める



3 提案

② 観光資源を活かし仕事を生み、若者の人口流出を防ぐ

観光資源の活用：散策マップの作成

- ・水舟集落の地形：小さなエリアに多くの自然と高低差がある
 - ・のどかな道が存在し、歩いているとリフレッシュできる環境である
- 観光資源として十分アピールできる



3 提案

② 観光資源を活かし仕事を生み、若者の人口流出を防ぐ

観光資源の活用: 散策マップの作成



3 提案

② 観光資源を活かし仕事を生み、若者の人口流出を防ぐ

観光資源の活用：歴史遺産の休憩所化

問題点：集落内に休憩所できるポイントがない

→ 現在使われていない「鐘つき堂」を東屋として改修



3 提案

② 観光資源を活かし仕事を生み、若者の人口流出を防ぐ

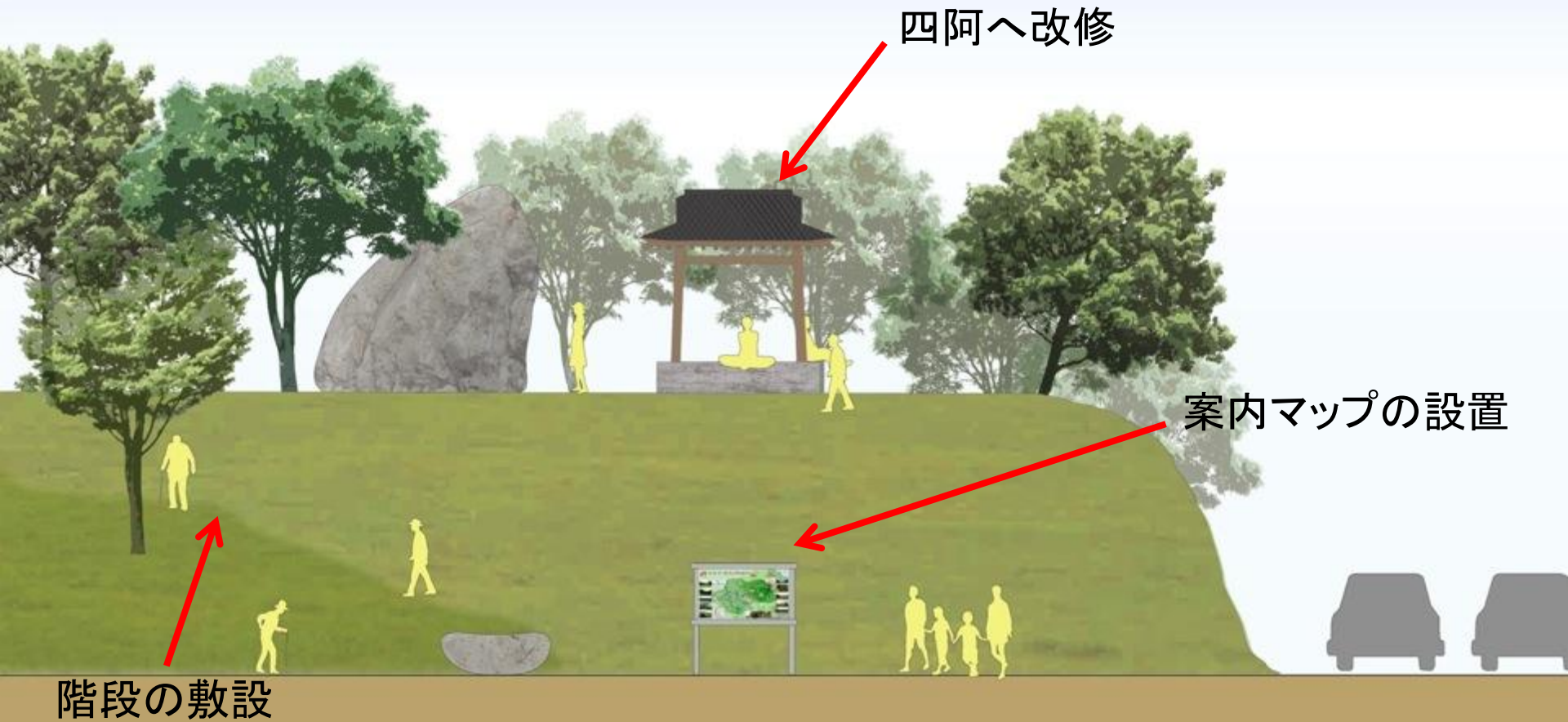
観光資源の活用: 歴史遺産の休憩所化



3 提案

② 観光資源を活かし仕事を生み、若者の人口流出を防ぐ

観光資源の活用：歴史遺産の休憩所化



3 提案

② 観光資源を活かし仕事を生み、若者の人口流出を防ぐ

新たな仕事の創出：農家民宿の推進

- ・震災調査等で宿泊需要がある
- ・経済効果や地域に対する愛着意識の向上が期待できる

→若い世代の人口流出を防ぎ、過疎化を食い止める

農家民宿の可能性を探る(アンケート回答から検討)

- ・世帯人員平均 3.5人
- ・2階建ての家屋が主
- ・茶の間を除く平均部屋数7.5室

→ 平均余剰居室は4室となる

3 提案

② 観光資源を活かし仕事を生み、若者の人口流出を防ぐ

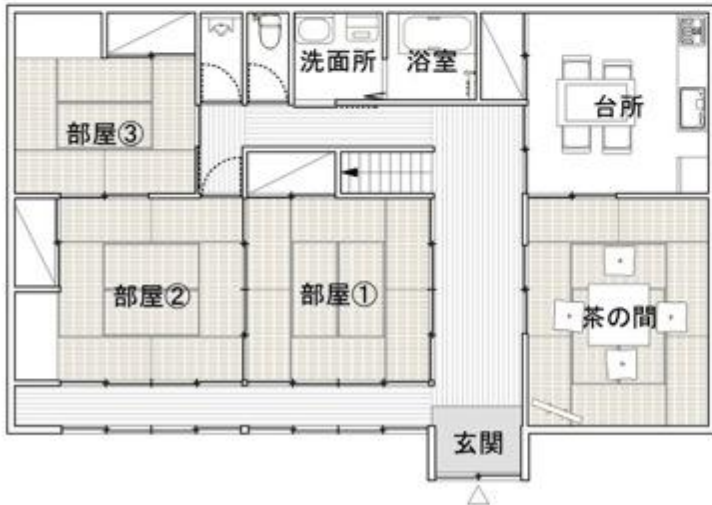
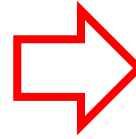
新たな仕事の創出：農家民宿の推進



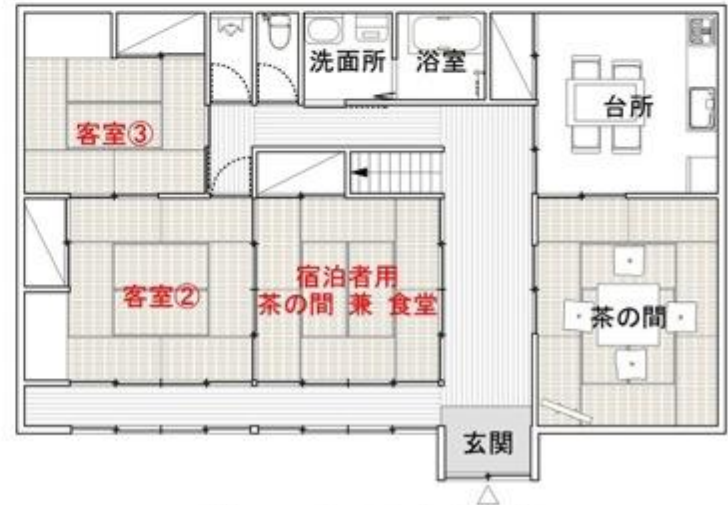
2階平面図（現状）



2階平面図（民宿実施案）



1階平面図（現状）



1階平面図（民宿実施案）

地区全体で集まる機会や場所をつくり
共同体としての意識を高めていく

また地区観光資源を活かし仕事を生み
若者の人口流出を防ぐ

このような形で地域活動を続けていき
水舟集落の活性化を目指したい